

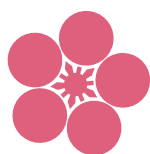
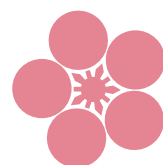


『明るく豊かで健やかな防府』の実現



輝き! ほうふプラン

第5次防府市総合計画 2021 » 2025



表紙のデザインは、
市内の中学3年生が
選んでくれたよ!



防府市

CONTENTS

序章

- P3 第5次防府市総合計画の基本的な考え方
- P5 防府市の特性
- P7 社会状況
- P9 人口の将来展望

- P12 第1章
まちづくりの基本目標

- P20 第2章
重点プロジェクト
(防府市まち・ひと・しごと創生総合戦略)

- P60 第3章
分野別施策

- P104 第4章
行政経営改革

- P110 防府市の概要

はじめに

このたび、これからの防府市をよりよく変えていくための新たな総合計画「輝き!ほうふプラン」を策定いたしました。

この計画は、様々な分野の方から御意見をいただきながら、市民の皆様とともにゼロから作り上げた計画です。

昭和38年に制定された防府市民の誓いになんで「明るく豊かで健やかな防府」の実現を目標とし、10年先の将来像をしっかりとイメージした上で、今後5年間に取り組むことを具体的に示しました。

その中でも、特に重要な施策を6つの「重点プロジェクト」とし、最優先で取り組んでいくこととしています。

令和の時代に燦然と輝く「防府のまち」をつくるため、一緒に計画を進めていきましょう。



令和3年(2021年)3月

防府市長 池田 豊

第5次防府市総合計画の基本的な考え方

この計画は、防府市自治基本条例第13条に規定する本市の最上位計画であり、まちづくりの基本的な構想を示す総合計画です。



未来に向けた取組をしっかりと進めます！

現在、市民サービスや防災の拠点となる新庁舎の建設をはじめ、防府駅周辺のまちづくり、国道2号の拡幅整備など、本市の将来に向けた施策を総合的に進めていく重要な時期を迎えています。

その一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、社会経済情勢や財政状況には、先行きが不透明な面もあります。

このような状況にあっても、令和の時代に^{さん ぜん}燦然と輝く「防府のまち」をつくるため、本市の将来をしっかりと見据えた上で、真に必要な事業を重点的に推進していきます。



新庁舎の建設



防府駅周辺のまちづくり



国道2号の拡幅整備



実行性を重視した5年間の計画です！

本市の10年後をイメージした上で、変化が速い時代に対応し、実行性を重視する観点から、計画期間は、2021年度（令和3年度）から2025年度（令和7年度）までの5年間とします。





誰にでもわかりやすい計画としています!

「防府市まち・ひと・しごと創生総合戦略※1」と「防府市行政経営改革大綱※2」を総合計画へ統合し、第5次防府市総合計画として一体的に推進していきます。

また、構成や表現を簡潔明瞭にするとともに、写真やイラストを活用してわかりやすい計画としています。

第4次総合計画

※1

まち・ひと・しごと 創生総合戦略

人口減少の克服と地域の活力創出
に向けた取組を定めたもの。

※2

行政経営改革大綱

限られた予算や人員で最大
限の成果を生み出すための
方針などを定めたもの。

統合

わかりやすい!

第5次防府市総合計画

〈構成・表現〉
簡潔明瞭

〈写真・イラスト〉
多数掲載



市民とともに進めます!

第5次防府市総合計画は、幅広い分野の委員で構成する「明るく豊かで健やかな防府創出会議」のご意見をいただき策定しています。

この計画は、市民や企業、団体などと一体となって、また、国や県、他の自治体ともしっかりと連携しながら、スピード感を持って着実に推進していきます。



市民・企業・団体など

〈計画を着実に実行〉

協働



防府市

〈スピード感を持って施策を推進〉

連携



© 山口県
国・県・他自治体



SDGsの理念に沿って推進します!

SDGs(持続可能な開発目標)の理念に沿って持続可能なまちづくりを進めるため、総合計画に掲げる施策の分野ごとに、SDGsのどの目標に関連しているかを明示し、市民と共有します。

SDGs(エスディージーズ)

[Sustainable Development Goals]

貧困、エネルギー、気候変動など、21世紀の世界が抱える社会・経済・環境面の課題を解決し、持続可能な形で発展していくため、国際社会が2030年までに達成を目指す17の目標。 ※109ページ参照



防府市の特性

多彩な歴史・文化・観光資源

防府は、古くから「娑婆(さば)」という名で日本書紀に登場し、市内には多くの古墳が残されています。「令和」の典拠となった万葉集の時代には、周防国の国府(国衙)が置かれ、周防国分寺が創建されました。防府が政治・文化の中心として栄えてきたことを示すこれらの史跡が市内には多く残っています。

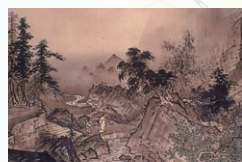
また、日本で最古の天満宮と言われる防府天満宮、東大寺別院阿弥陀寺、旧毛利家本邸や「紙本墨画淡彩 四季山水図」(雪舟筆)をはじめとする国宝5件など、多彩な歴史・文化・観光資源に恵まれています。

本市に所在する国宝5件

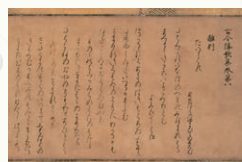


鉄宝塔
(水晶五輪塔共)

【 阿弥陀寺蔵 】



紙本墨画淡彩
四季山水図



紙本墨書 古今和歌集巻第八
(高野切本)



菊造腰刀
刀身無銘 伝当麻

【 毛利博物館蔵 】



史記呂后本紀第九

豊かな自然と恵まれた立地環境

本市は、山口県の瀬戸内側中央部に位置し、中国山地に源を発する一級河川佐波川が県下最大の防府平野を形成しながら瀬戸内海に注ぎ込み、豊かで美しい自然に囲まれています。

重要港湾三田尻中関港を擁するとともに、山陽自動車道、国道2号、JR山陽本線などの主要幹線が集中する海陸の交通の要衝となっています。JR山陽新幹線新山口駅や徳山駅、山口宇部空港にも近く、恵まれた立地環境と高い交通利便性を有しています。



一級河川佐波川と右田ヶ岳

日本海

山口県



陸路の拠点

新山口駅

山陽新幹線

山口宇部空港



空路の拠点

周防灘
瀬戸内海

県の農林業振興の中心となる 「農林業の知と技の拠点」

本市牟礼にある農業大学校と、山口市にある農業試験場・林業指導センターが一体となった、山口県「農林業の知と技の拠点」の整備が農業大学校の敷地で進められており、新技術開発の活性化、創造力と実践力豊かな人材の育成、新しい連携・交流などによる農業・林業の成長産業化が期待されています。

また、拠点の整備と併せて農道牟礼小野線の整備が進んでおり、農作物輸送の効率化などに大きな効果が期待されます。

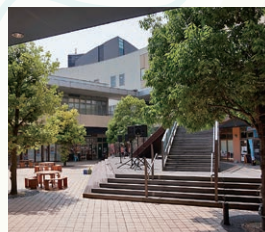


「農林業の知と技の拠点」イメージ図

一体感のある市域と 機能的な中心市街地

本市は、公共機関や市街地が市の中心部に集中し、市全域へのアクセスが良く、「まち」としての一体感があります。また、緊急時の対応もしやすく、便利で効率的なまちづくりを進めやすい環境にあります。

防府駅周辺においては、鉄道高架によるJR山陽本線北側と南側の市街地の一体化や文化施設・商業施設の整備などにより、機能的な市街地の形成が進んでいます。



ルルス防府 わっしょい広場



防府駅みなとぐち



臨海部に集積された工業地帯

本市の臨海部には、我が国有数の自動車メーカーをはじめ、化学、ゴム製品製造業などの多くの企業が臨海工業地帯を形成しており、製造業が経済をけん引している山口県にあって、その一翼を担っています。

また、重要港湾三田尻中関港は、国内はもとよりアジアや北米、ヨーロッパなどとの物流の拠点となり、本市の産業を支えています。

〈三田尻中関港〉

完成自動車の輸出貨物量351万トン 全国7位

【令和元年港湾調査(国土交通省)】

世界へ広がる
メイドイン防府



出荷待ちの車が並ぶモータープール↑

安全・安心な暮らしの確保

近年、台風や局地的な集中豪雨による風水害をはじめ、地震などの災害が毎年のように発生しています。本市に甚大な被害をもたらした平成21年7月21日豪雨災害の教訓を忘れることなく、あらゆる災害に対する備えを充実強化していかなければなりません。

日常生活においても、若い命を脅かす痛ましい事故や高齢者を狙った犯罪などが全国で後を絶たず、誰もが安心して生活できる社会づくりが求められています。

一方、1960年代を中心とした高度経済成長期に整備された公共施設や道路・橋などの社会インフラの老朽化が進んでおり、利用者の安全・安心を第一に、長寿命化や管理運営の効率化を進めていく必要があります。

さらに、新型コロナウイルス感染症により、私たちの日常生活は大きく変化しました。まちづくりにおいても、ウイルスと共生していくことを見据えた対応が求められています。

【市民防災の日】

平成21年7月21日に発生した豪雨災害の体験と教訓を永久に忘れることなく、あらゆる災害について防災意識を高めていくとともに、災害に対する備えを充実強化し、安全で安心なまちづくりを推進するため、7月21日を「市民防災の日」と定めています。

平成22年7月制定



橋りょう補修工事の様子

多様性の尊重と共生社会

価値観やライフスタイルが多様化するとともに、一人ひとりの個性が尊重される社会への変化が進んでいます。

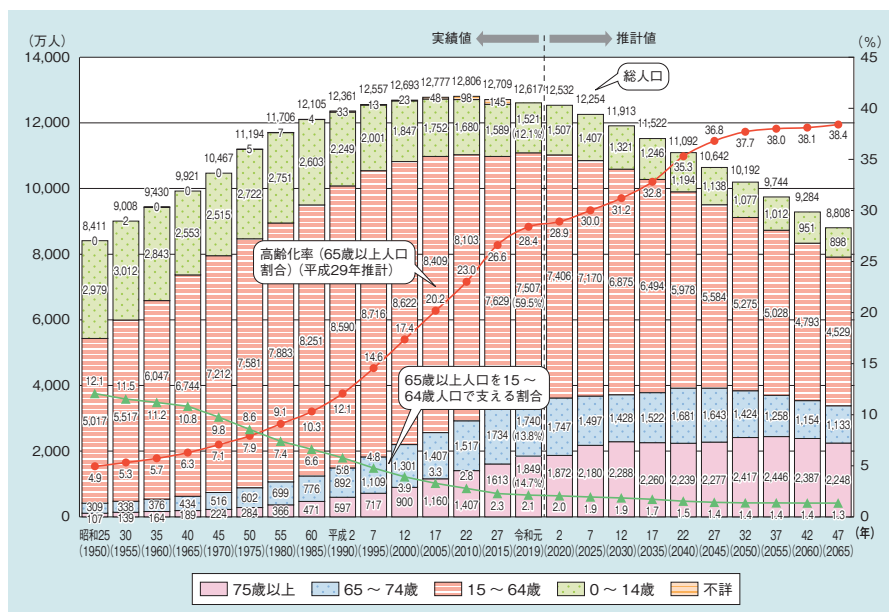
年代、性別、障害の有無、国籍などにかかわらず、誰もが社会を構成する一員として、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりが求められています。



少子高齢化と人口減少の進行

我が国では、少子高齢化と人口減少が急速に進んでおり、労働力の不足、社会保障費の増加、地域の活力低下など、さまざまな影響が懸念されています。

子育て支援の充実をはじめ、次代を担う子どもの育成、健康寿命の延伸など、あらゆる世代がいきいきと生活できるまちづくりを進めることが求められています。



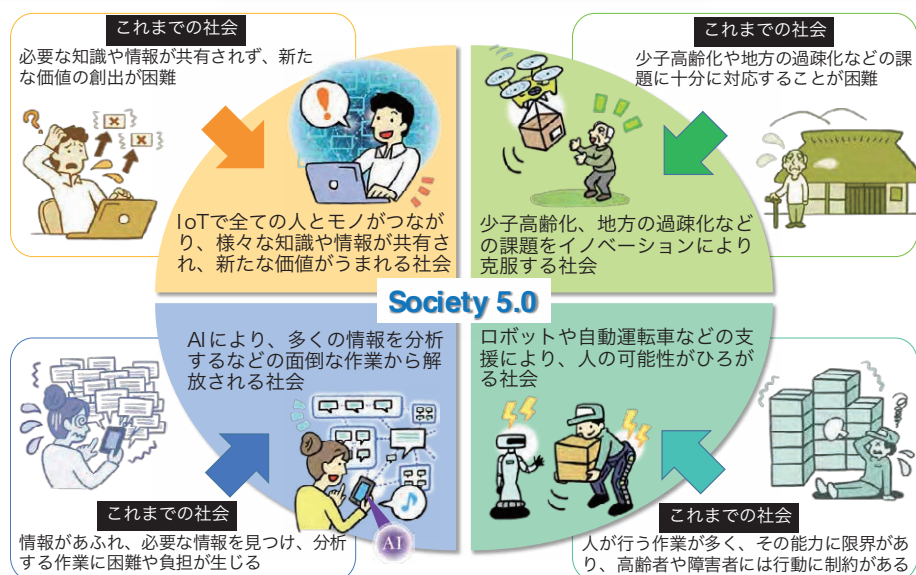
出典：厚生労働省「高齢社会白書」

デジタル社会の実現

AI(人工知能)などの情報通信技術が急速に進展・普及しており、産業、医療、教育など、さまざまな分野で活用が期待されています。こうした中、新型コロナウイルス感染症への対応において行政のデジタル化の遅れが浮き彫りとなり、国を挙げてデジタル社会の実現に向けた改革が進められています。

市政においても、デジタル化を積極的に推進し、市民生活の利便性向上と効率的な行政運営につなげていく必要があります。

一方で、セキュリティの確保や個人情報の保護などについても、しっかりと対応していくことが求められています。



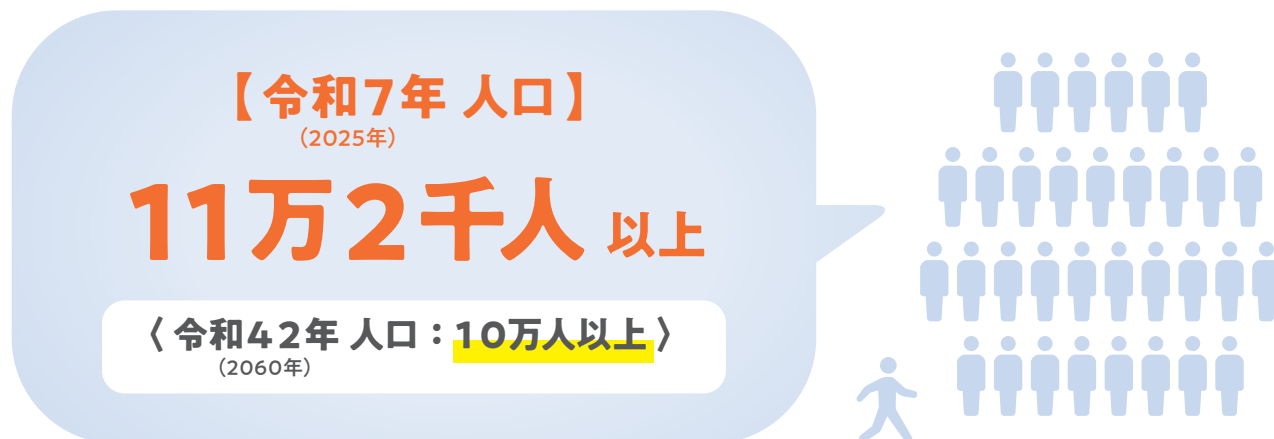
出典：内閣府「Society5.0『科学技術イノベーションが拓く新たな社会』説明資料」

人口の将来展望

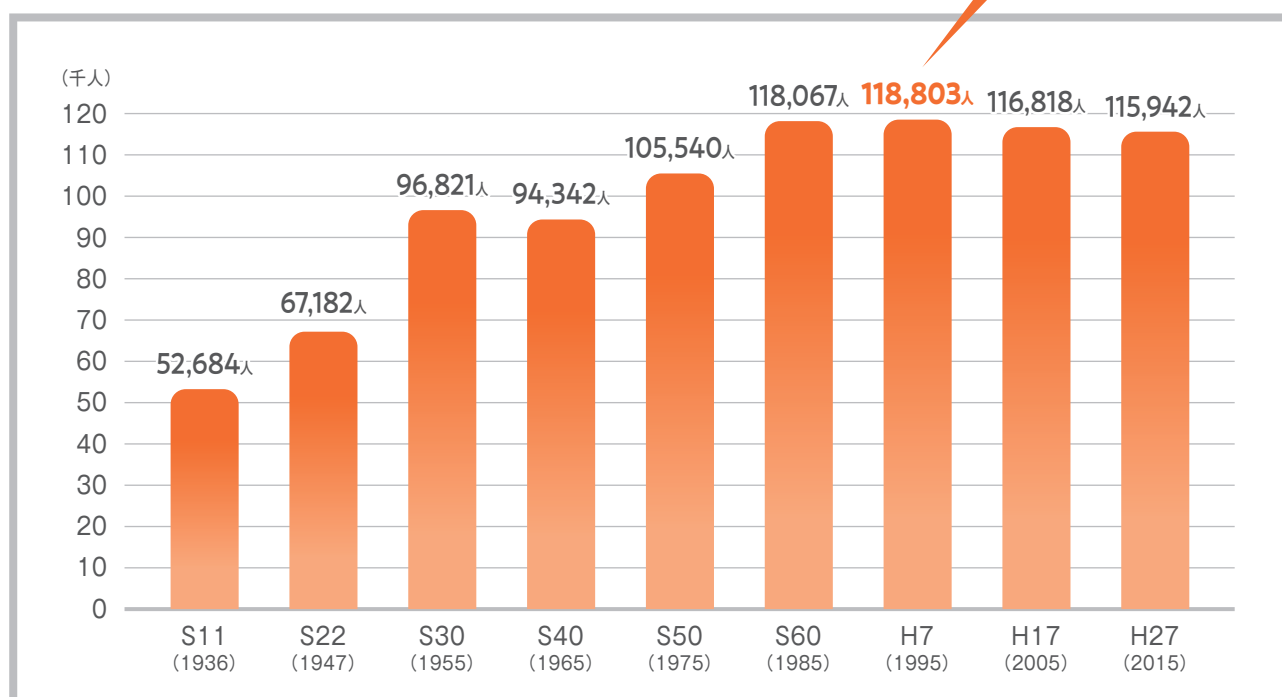
国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」という。)が平成30年(2018年)に公表した推計に基づく、本市の将来人口は、令和42年(2060年)に約9万人に減少すると見込まれます。一方、防府市人口ビジョンにおいては、出生率の向上や若者の社会減に歯止めをかけることなどにより、将来にわたって人口10万人を維持することを目指しています。

このことを踏まえ、第5次防府市総合計画では、計画期間最終年の令和7年(2025年)に人口11万2千人以上を維持することを目標として諸施策を展開します。

また、計画最終年における年齢構成比については、年少人口(0~14歳)を12.5%、生産年齢人口(15~64歳)を55.8%、老年人口(65歳以上)を31.7%と想定しています。

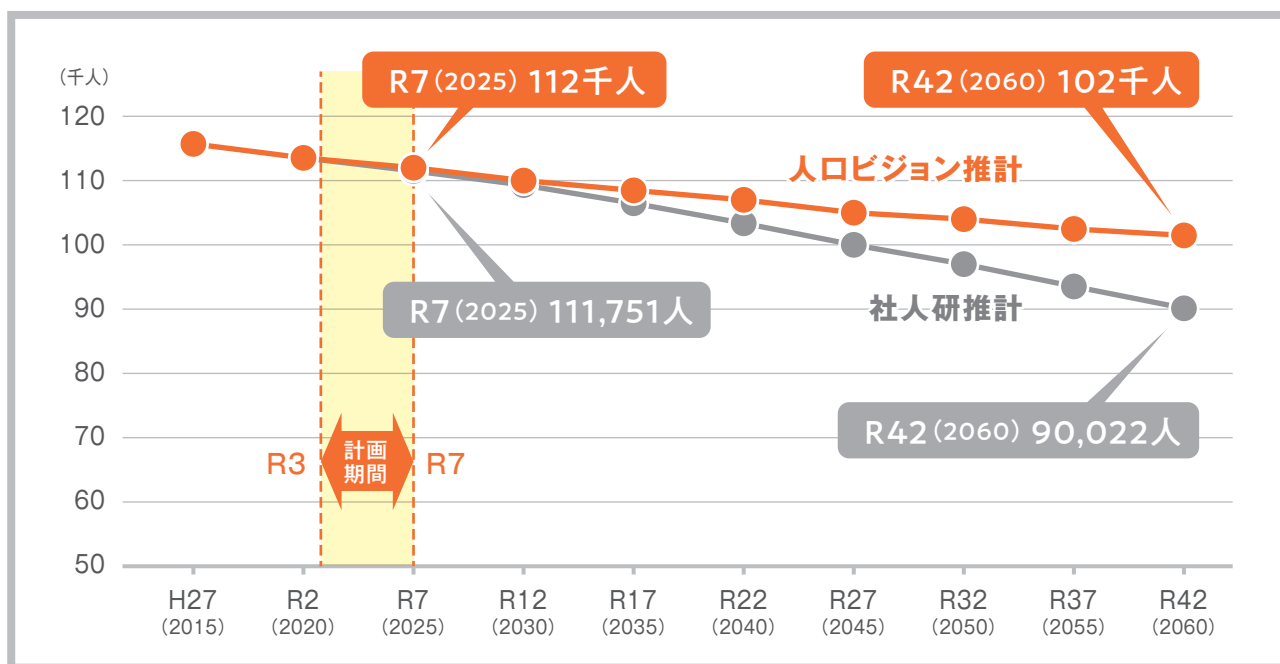


■人口の推移



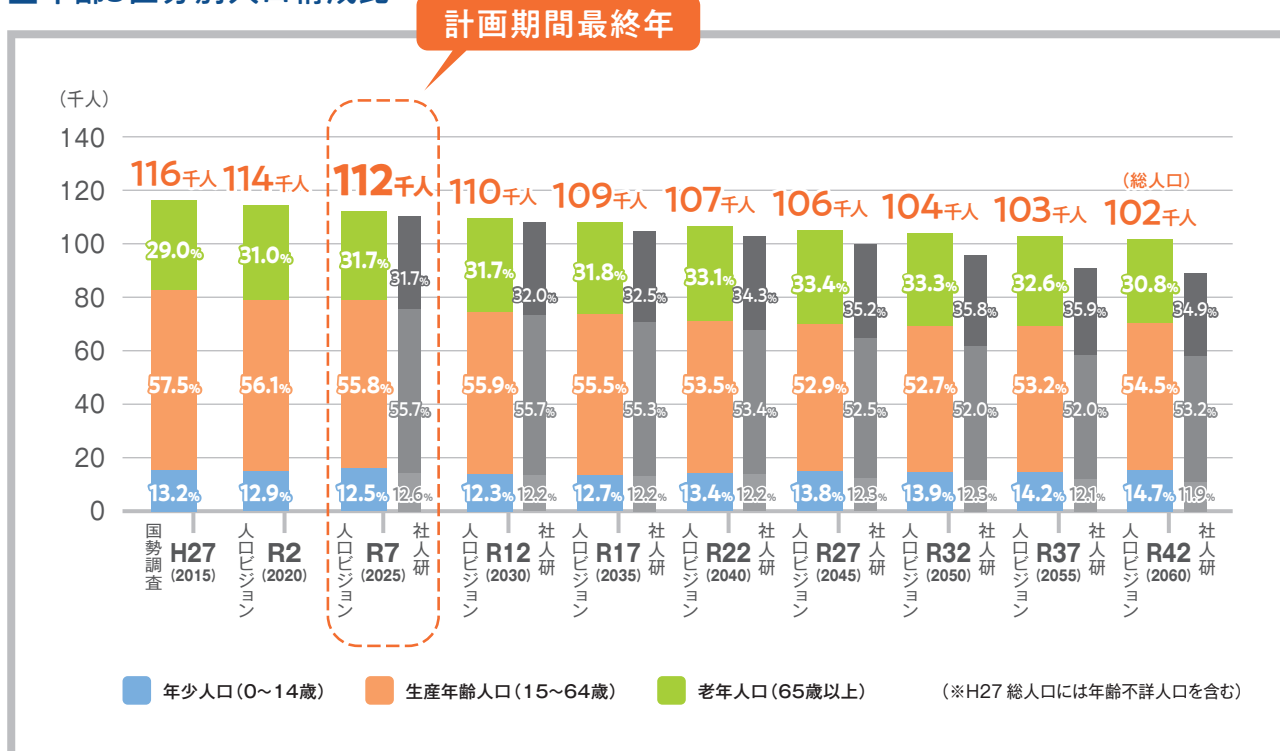
出典:防府市市勢要覧

■人口の将来展望



出典:国勢調査、防府市人口ビジョン

■年齢3区分別人口構成比



出典:国勢調査、防府市人口ビジョン



[illegible]